

いかわ 井川 いせきち 伊勢吉 (1909~1990)



製紙会社会長。宇摩郡三島町(現、四国中央市)出身。高等小学校を卒業後すぐに家業の製紙原料商を手伝った。昭和15(1940)年、西条市の丸菱製紙という和紙工場を買い取ったのを皮切りに得意先の和紙工場を次々と買収、昭和16(1941)年、四国紙業株式会社を創立した。太平洋戦争中の昭和18(1943)年、戦時下の企業合同により愛媛、香川、高知の14工場が合併して大王製紙株式会社が創立、戦時下という苦しい状況下で経営をスタートさせた。戦後は和紙抄造から洋紙抄造への転換を図り、またパルプ工場を建設してパルプから紙までの一貫製紙工場をつくり、愛媛における製紙産業の発展の基礎を築き、商工業の近代化、経営の安定に努めた。また、銅山川分水における柳瀬ダム、新宮ダムの実現にあたってその功績は大きく地域開発に寄与した。

略歴

明治42(1909)年11月7日	宇摩郡三島町に生まれる。
昭和3(1928)年	三島で製紙原料商開始
昭和15(1940)年	丸菱製紙所社長に就任し、製紙業へ参入
昭和16(1941)年	四国紙業株式会社を創立、大王製紙の母体となる製紙工場づくりに着手
昭和18(1943)年	大王製紙株式会社が創立され、社長に就任
昭和22(1947)年	宇摩商工会議所会頭に就任 銅山川分水への取り組み開始
昭和28(1953)年	柳瀬ダム完成
昭和39(1964)年	大王製紙が倒産の危機に陥り、昭和37年に会社更生法の適用を申請し、責任を取って社長退陣
昭和40(1965)年	会社更正手続終結。社長復帰
昭和50(1975)年	新宮ダム完成
昭和53(1978)年	日本製紙連合会副会長に就任
昭和56(1981)年	愛媛県功労賞受賞
昭和59(1984)年	伊予三島市名誉市民となる。
昭和61(1986)年	愛媛放送賞受賞 勲二等瑞宝章受章
昭和62(1987)年	代表取締役会長に就任
平成2(1990)年7月4日	80歳で永眠

(写真提供：大王製紙株式会社)

〈関連図書〉

- ・『えひめ 人 その風土』 愛媛放送株式会社 1986年
- ・伊予三島市史編纂委員会『伊予三島市史 中巻』 伊予三島市 1987年
- ・大王製紙社史編纂委員会『大王製紙50年史』 大王製紙株式会社 1995年